

一般質問 (要旨)

第3回定例会では、9月7日、8日、10日、11日の4日間にわたり20人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

「新型コロナウイルス感染症対策」



自由民主党・明政クラブ
太田 久美子



問 ①インフルエンザとの同時流行にどう備え対応するのか②感染者数だけでなく、個人情報に配慮し必要な情報の公開を③介護施設入居者と職員にPCR検査全額補助を④インフルとの同時検査体制の整備を。

答 ①高齢者を対象にインフル予防接種無償化等、都の動向に注視し検討②都が公開内容を変更することを検討③都の補正予算に合わせ、市において対応を医師会等と検討。

「コロナ禍の災害対策」



自由民主党・明政クラブ
しの 浩司



問 ①大規模自然災害が起きた際の避難所における集団感染防止策は②台風シーズンだが、避難所の確保状況は③指定避難所に設置する福祉避難スペースの運営体制は④潜在看護師等に研修を実施してはどうか。

答 ①関係機関と連携し必要な対策、対応を遅滞なく進める②水害時は指定避難所以外の公共施設を可能な限り開放③福祉保健部職員2人以上配置し健康状態の確認等を行うほか保健師等の巡回実施④多摩府中保健所等と連携し検討する。

「コロナ禍における市民生活への影響について」



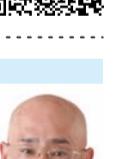
自由民主党・明政クラブ
しの 浩司



問 ①ごみ排出量、またその処理にどのような影響があったか②引き続き家庭内の滞在時間が長くなった場合、ごみ排出量増が見込まれるが、減量対策は③市民として、ごみ処理の負担軽減となる取り組みとは。

答 ①排出量、収集運搬時間と回数、中間処理施設の稼働時間の増②4Rを中心に進める③ペットボトルのキャップを外すなど効率的な収集と中間処理ができるごみ出し。

「交通安全対策について」



自由民主党・明政クラブ
三角たけひさ



問 ①狛江市は都内でも、自転車が増える事故件数が非常に多いが、考えられる要因は②どのような対策が必要か③社会問題化している「ながらスマホ」についての認識と、その対応は。

答 ①平坦な地形により利用率が高い、人口増加②正しい交通ルールの周知や自転車走行空間の創出③自身が人や車両に衝突するだけでなく相手に怪我をさせる。交通安全教室などで周知に努める。

「介護の心構え」



自由民主党・明政クラブ
三角たけひさ



問 ①高齢者虐待の具体的な対策は②夜間在宅介護のサービス提供者の課題は③ヤングケアラーに対する支援

答 ①速やかな事実確認と支援②人材確保と需給バランスから採算事業に③就学中には必要な支援が可能も、社会人は難しい。

「コロナ禍における文化・芸術支援について」



自由民主党・明政クラブ
三角たけひさ

問 デジタル公共空間がもたらす価値とポストコロナ時代に求められる文化・芸術・スポーツ政策の方向性は。

答 デジタルコンテンツとして配信することは有用と認識。多くの人に場を提供することが困難な状況になると考えられる。



自由民主党・明政クラブ
谷田部 一之



「きらり輝く未来の狛江市に必要なこと」

問 ①狛江駅南口活性化のためリムジンバスの誘致進捗状況は②和泉多摩川駅周辺の用途を見直し人口を増やし、よりにぎわいのあるまちにしたいが市の見解は③きらり輝く狛江の将来理想図市長の考えは。

答 ①関係機関と話し合い、進めていくと確認を取っている②河川敷を上手に活用した賑わい創出や災害に強いまちづくりが必要③まちの変化の中で都市マスを改定し、理想的な将来都市像を示す。

「新型コロナウイルス感染症対策について」



自由民主党・明政クラブ
辻村 ともこ



問 ①これまでの市独自の取り組みについて②課題は③コロナ禍の中で市は今後どのような財政運営をしていくか④今後新たな具体的な政策実施はあるか。

答 ①PCR検査センター稼働、65歳以上等へプレミアム付商品券給付、高齢者向けエアコン助成などを実施②保健所の組織の見直しや適切な人員配置が課題③持続可能な財政のため引き続き、規律に基づいた財政運営を行う④必要な支援・対策があれば実施。

「都市マス・喜多見駅狛江市側改札口、歴史博物館」



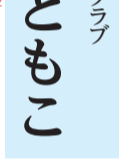
自由民主党・明政クラブ
辻村 ともこ



問 ①都市マス意見募集状況は②意見集計結果の公表について③喜多見駅狛江市側改札口復活への市民意見が85%と多い。市の検討状況は④歴史博物館・資料館の検討状況は⑤芝生のグラウンドの検討状況は。

答 ①158件の意見をいただいた②オープンハウス等で公表③住環境の変化を見据えて喜多見駅周辺の検討を行う④保管・展示性を高めるが、経費がかかり、養生期間が必要。

「フェーズフリー防災・水害対策・SNS回覧板」



自由民主党・明政クラブ
辻村 ともこ



問 ①フェーズフリー防災の評価②避難訓練や防災レジュラの参加状況③災害時に町会の個人情報を使用するのか④水害時の安否確認などに有効なLINE等SNS回覧板の検討状況。

答 ①無理なくできる災害への備えとして有効と認識②昨年の防災訓練1662人、防災レジュラ71人が参加した③本人の同意なく活用することは難しい④調査・検討を続けている。

「安心して安全なまちづくりのために」



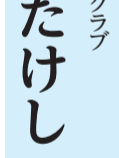
自由民主党・明政クラブ
栗山 たくし



問 ①東京外かく環状道路工事による被害が出ていような発信があるが地上への影響発生報告は有るか②野川谷戸橋外かく工事事業用地の今後、工事完了後公園等の予定は有るか③調布市入間町NTT研究所と避難所災害協定を結ぶべいか。

答 ①環境基準値を満たしていることを確認している②予定はない③先方の意向、調布市との調整等があるが、協議していきたい。

「人にやさしい選挙」



自由民主党・明政クラブ
栗山 たくし



問 ①期日前投票所は市役所で無ければならない理由はあるのか②市役所以外の期日前投票所は可能か。

答 ①公職選挙法において指定する市役所以外の場所でも可能だが、諸条件を満たす場所は中々難しい②法的には可能であるが、設備の問題・人件費などを考慮すると実現は困難である。

「新型コロナウイルス感染症対策について」



日本共産党狛江市議員
岡村 しん



問 ①PCR検査を増やす意義と必要性②PCR検査センターの実績③稼働日を増やす検討を④1万人に1か所の検査場を市内診療所で検討を⑤介護士や保育士などケアワーカーへPCR検査を定期的に出さないか⑥多摩府中保健所の人口と多摩地域の順位は⑦新たな保健所の増設要望⑧インフルエンザ予防接種の対象拡大を⑨コロナ関連の情報提供量を増やすべき。

答 ①早期発見のため、PCR検査を増やすこと

「他に、ジェンダー平等の社会について質問」



日本共産党狛江市議員
岡村 しん



は重要②8月実績は7日間39人が検査し7人が陽性③感染状況により検査回数の増加や減少を検討④対応が必要なものは検討⑤症状や疑いのない方へ実施はしていないが、都の動向に注視し検討⑥多摩府中保健所管内は約103万人で一番多い⑦保健所の組織の直しや適切な人員配置が課題のため、改善要望をあげている⑧重症化の予防の任意接種のため、必要性について関係機関とも検討⑨都が公開内容を変更することを検討。

答 ①商工会と情報共有し②どのようにすれば実現可能か検討する。